

磐田市文化会館建設検討委員会（第12回）会議記録

【日時・場所】

平成29年1月16日（月）10:00~12:00

磐田市役所4階 大会議室

【出席者】

建設検討委員会委員：青島美子、浅羽 浩、小野泰弘、鈴木正善、鳥居 勤、永井聡子、袴田茂人、
平野邦孝、村上勇夫

磐田市：酒井企画部長、清水市民部長、井熊企画部理事

秘書政策課：袴田秘書政策課長、鈴木

文化振興課：大庭文化振興課長、小澤、丸尾、新貝

建築住宅課：渥美、高林

環境デザイン研究所：斎藤、小高

1. 開会

議事1 （仮称）磐田市文化会館最終答申案内容の確認・・・事務局説明

（会長）

答申案について見直し、意見等がありましたらお願いします。

（委員）

利用者に配慮して議論した答申案となっていると思います。整備後は色々な方面から利用の申請があると思います。運用面で市民が予約しやすいような配慮がなされるといいと思います。

（委員）

皆さんの意見が反映された印象があります。確認ですが、座席はどの位置からでも舞台を見ることができるレイアウト、とありますが、これまでの中で見やすい方がいいといった議論があったと思います。舞台が見やすいという表現がいいかと思います。

（委員）

委員会で議論されたことが入っていますので修正はないと思います。メンテナンスの必要性にも触れています。詳細は、会長に一任いただくといったことで良いのではないかと思います。

（委員）

議論した内容が盛り込まれた答申案だと思います。にぎわい創出という観点から、ロビーやホワイエは、来館者が多目的に利用できる施設として設計の時に詰めていくと思います。しっかりした施設ができて、いつもにぎわいがあるかはわかりません。今の文化会館も、催し物があるとき以外はそうでは

ありません。にぎわい創出という観点から、ロビーやホワイエはくつろぎやすい施設であっても何か足りない感じがします。商業施設がないと、にぎわい創出は難しいと思います。

(会長)

委員会では売店は利用がなく不用という意見だったと思います。アミューズ豊田にも喫茶室がありましたが、今はそれ以外の目的で使用しています。全体の中にそういう施設があるのもよいかと思います。事務局で、そういう意見があったことを記録いただければと思います。

(委員)

アミューズ豊田の敷地の南側には東西の市道があります。動線ということで安全面の確保をできるような、既存施設との連携をお願いしたい。また、状況の財源の中で、これだけの施設がある程度、建設可能であるのかを知りたいと思います。

(会長)

設計、整備においては、市において最終的な判断をされ、この委員会の意見を尊重して欲しい、という添え書きがしてあります。事務局で説明はありますか。

(事務局)

スポーツ施設も土日には多くの人があるので商業施設に入っただき、コーヒーや軽食等を提供できないか検討してきました。ところが、民間事業者と話をしても採算が合わないということです。アミューズ豊田の近くにはレストランもありゾーンとして総合的に考えていきたいと思います。

また、委員会の意見を全て実現することは、現状の磐田市の財政力では厳しく、あれもこれもと言う訳にはいきません。付帯施設等は市の財源の中で検討していきたいと思います。

例えば、委員会の意見に沿い、座席の前後左右をゆったりした時に、1500席を確保するには相当の面積が必要になり、1500席を少し割ってしまうことも考えなければならないということも起こり得ます。しかし、可能な限り委員会の意見を反映した計画にしたいと思います。

(委員)

既存施設との連携で駐車場は実際にアミューズ豊田をフルに利用した時に足りるのかという疑問があります。運営上、駐車場をどう効率的に使っていくかが大きな要素だと思います。

(会長)

駐車場を含めた建物の動線という観点になりますが、両方に大きな催し物が入ることもあります。そういう場合には工夫が必要だと思います。

なお、行政でアミューズ豊田南側の東西の市道の安全対策等は検討されると思います。

(委員)

人材育成の件を答申に含めるのかということですが、取り扱いはどうなりますか。

(委員)

貴重な意見だと思いますが、基本的にはハード中心の議論です。事務局で、そういう意見があったことを記録いただければと思います。

(会長)

議事1の確認は以上でよろしいですか。続きまして、議事2の文化振興センターの機能につきまして、意見を頂戴したいと思います。

議事2 文化振興センター機能について・・・事務局説明

(会長)

現在の文化振興センター各部屋の利用状況の説明がありました。新たなにぎわいづくりにつながる美術作品等の展示施設や会議室機能といったことを検討することが望ましいといった答申案です。この他の意見をお願いします。

磐田市文化振興センター設置条例第1条で、市民の福祉増進と、文化の向上を図るため、文化振興センター設置する、と定めています。機能として、その両方を備えたようなものを考えればよろしいですか。

(事務局)

基本的に建物がなくなれば、条例は廃止になります。文化振興センターは、アミューズ豊田へ行く訳ではありません。利用状況を確認いただいた中で、どのような機能がそこに必要なのかを議論いただければと思います。

(委員)

答申内容が実現すれば、かなり誇れるホールができます。文化振興センターの展示機能に関することも議論し、良い方向を見つけていただければと思います。今度の文化会館移設を期に美術芸術作品に対しても大きく日が当たる拠点の場所を期待しています。跡地利用の中に展示施設という方向づけができればと思います。

希望は美術館のような壁面造りが一番の望みです。しかし、財政上の問題、立地の問題などがありますので、美術、芸術作品の展示に耐えられるような展示室、展示場ができたらと思います。

(委員)

磐田市にとって何が必要かを考える必要があると思います。例えば、大会議室や分科会ができるような会議室が備わるワークピアとは異なる研修会に特化した機能が必要かと思います。

(委員)

要望や意見等がありますか。

(事務局)

現在のところ、新聞報道されましたが、商工会議所の建物建替えの時期が来ており、商業施設を中心に、にぎわいづくりを一緒にやりたいという要望は受けています。

(委員)

地域の住民など、関係する市民の皆さんの意見を聞く中で、新たなにぎわいづくりにつながる利用を期待するという、文言が入った方がいいような気がします。

(会長)

この場所は、全市域のいろいろな会合に使われると思います。市民の皆さんの要望を聞きながら整理していくことが望ましいということですね。

(委員)

磐田市に色々な展示を誘致できるような場所は必要だと思います。その展示室は美術館的にするのか、様々な利用に対応するかは検討の余地があると思います。展示場所を求める団体は多く生け花展、書道展、絵画展あるいは産業展示などの場所が不足しているといった声はあります。商工会議所とのドッキングでお客が集まる催事が企画できると思います。

(会長)

光も調節できる展示専用施設ができることに越したことはないと思いますが、その辺りは本当にお金もかかる話です。多目的になることもやむを得ないが、いい作品も展示できる施設であって欲しいということでしょうか。

(委員)

現在の振興センターは利用率が低い部屋もあります。現況にとらわれない、新たなものを考えていただければと思います。それは、いろいろな展示できる部屋で、市外からも利用したいということになればと思います。

(会長)

子どもを連れて研修会に来て、託児と一緒に遊べるコーナーといったものや、市内外の催し物を発信するインフォメーションコーナーといった機能もいいかと思います。

(委員)

文化に限定したものになりますか。

(事務局)

現在地には、市民文化会館と文化振興センターという2つの建物があり、隣接する建物なので、一体利用をすることもあります。今度、アミューズ豊田に移るのは文化会館になります。文化振興センター

機能のうち、そこに残さなければならないものは何か。そこを議論いただきたいと思います。市の新たなぎわいづくりにつながるような一つの要素になる議論をいただきたいと思います。

(会長)

250人収容する大会議室は、どのように使っていますか。

(事務局)

官民間問わず250人規模の施設は周辺にはなく、それなりの人数が入る研修会などで使われています。

(委員)

現在の文化振興センターの展示機能よりグレードアップしたものという思いを伝えたいです。

(委員)

磐田市の絵画、写真、書、彫刻の作家は個展を浜松、静岡、東京、大阪、名古屋で行っています。市内には、そういう場所が、ほとんどなくなってきており風雲急を告げるものです。今度のところは作家が気楽に利用できる展示施設ができたと思います。

(委員)

文化振興センターの予約の受付は3ヶ月前からになりますが大きな催しになると、3ヶ月では予定が立たなく使いにくいところもあります。

(委員)

最終答申案に「文化会館は本委員会の第1次答申を受け、アミューズ豊田南側敷地に移転することが決定しております」と表記しています。議会でこだわるのは、現段階で建設位置は、市当局が決定していることであり、議会に、これから具体的に関係する予算の要求があり、その審議を経て、磐田市という地方公共団体が決定をしたこととなります。表現を見直した方がよいのではないかと。

(会長)

市当局が決定したということで「本委員会の第1次答申では、アミューズ豊田南側敷地に移転することとしております」という表現でいかがですか。

(委員)

それで良いと思います。

(会長)

文化振興センター機能の意見は、ほぼ出尽くした感じがします。また何か、意見がありましたら事務局へ意見をいただければと思います。

本日いただきました意見については、私と副会長に一任いただき反映させた形で事務局と調整をして

最終答申と考えております。

ありがとうございました。事務局にお返し致します。

(事務局)

長時間にわたり意見をいただきましてありがとうございます。

今後の進め方は、本日頂戴しました意見を会長、副会長及び事務局で最終答申にまとめます。出来上がったところで、委員の皆様にも確認をしていただきます。最終的には、建設検討委員会から市長への最終答申という形にしたいと思います。市長への答申の時期はスケジュール調整等もありますので、会長、副会長に一任ということでお願いします。

今後、事務局では答申書に反映できなかった細かな内容なども参考にさせていただきながら事業を進めたいと思います。

今後の事業予定ですが、平成 29 年 4 月から本格的な設計に入っていきたいと考えています。30 年度から 31、32 年度を工事期間として平成 33 年にはオープンという計画です。

本日が委員の皆様が一堂に会する委員会の最後になるかと思えます。行政を代表しまして事務局の市民部長から、お礼の挨拶を述べさせていただきます。

挨拶・・・市民部長

閉会